(平成27年 10月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水産物全般	<p>10月の総入荷量は、前年に比べると鮮魚が、特に北の海域において台風など荒天の影響により、北海道、東北方面からの入荷が減少したことや、加工水産物も価格上昇等により入荷が減少となったことから、全体として6%の減少となった。価格については、鮮魚が入荷減少により全般に値上がりし、水産加工物も原材料の値上がり等の影響で値上がりした結果、水産物全般の取扱金額は3%上回った。</p>
(区分別の動向) 鮮 魚	<p>10月の鮮魚の総入荷量は、前年同月と比べ7%下回ったため、平均単価は10%上回った。</p> <p>品目別には、めばる、すずき、さわら、しず、けんさきいかは30%以上前年の入荷を上回ったが、多くの魚種で入荷は前年を下回り、特にさんま、たら、するめいかは漁獲不振により大きく減少した。</p> <p>さんま漁は小型サイズ中心の低調な漁獲のままで、11月下旬には漁期を終えそうである。秋さけも低調だった前年並みの漁獲となりそうである。</p> <p>11月にはぶり、さわら等冬に向けて脂が乗り始める魚が増えてくる。ふぐは前年の低価格の影響で、今期の養殖尾数が減少しており、さらに、成長が遅れて出荷サイズに適している魚が少ないことから、入荷が減少しており、当面高値が続くと思われる。11月6日には日本海カニ漁が解禁となり、あんこう、たら等冬物商材が美味しくなる季節となる。</p>
冷 凍 魚	<p>10月の冷凍魚の総入荷量は、前年同月と比べ4%下回ったが、平均単価は前年並みであった。</p> <p>品目別には、冷さばは、主体のノルウェー産が価格を下けているが、高値で縮小した需要が元には戻らず、冷さば全体で入荷は11%下回った。冷えびは価格を下げたため消費回復してきており、入荷は8%上回った。</p> <p>かには、ロシア海域で、たらばかに、ずわいかにの漁獲</p>

<p style="text-align: center;">加 工 水 産 物</p>	<p>枠が増枠されているが、中国、韓国等海外の需要が強く日本への搬入が減少する見込みで、冷かには高値が予想される。輸入魚は為替の大きな変動がなければ、今の相場が続く魚種が多いと思われる。</p> <p>10月の加工水産物の総入荷量は、前年同月と比べ7%下回ったことや、加工原材料が全般に値上がり傾向にあることから、平均単価は16%上回った。</p> <p>品目別には、さんまが漁獲不振とサイズの小型化により、大型サイズの塩さんまは値上がりして入荷が30%下回ったのに対し、漁獲サイズに合う小型の開干さんまは値下がりして入荷は58%上回った。値下がりした塩銀さけ、干ささかれい、ゆでたこが入荷を伸ばし、値上がりした塩べにさけ、塩ます、開干あじは減少した。ちりめんの価格は8%値上がりしたが、需要が好調で入荷も24%上回った。また秋さけが、前年並みの低調な水揚げで終わりそうなことから、年末の需要期に向けていくら、筋子の値上がりが懸念される。</p> <p>11月は、6日に日本海西部かに漁が解禁となり、10日には棒だらの入札が行われ、年末に向けて荷動きが活発になってくる時期となる。</p>
--	--

※生鮮魚：鮮魚，貝類，淡水魚

※冷凍魚：冷凍魚（鯨肉を除く）

品目	市況の概要
(鮮魚主要品目の動向)	
ま あ じ	京都，静岡で水揚げされたもの主体の入荷で，入荷量は前年同月並であったが，小型サイズが多くなったことから，価格は9%下回った。
ま い わ し	愛知，三重で水揚げされたもの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ5%下回ったため，価格は2%上回った。
さ ば	韓国，石川，長崎で水揚げされたもの主体の入荷で，入荷量は韓国産の増加により，前年同月と比べ16%上回った。価格は単価の高い韓国産の影響もあり，11%上回った。
す る め い か	長崎，北海道で水揚げされたもの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ50%下回ったため，価格は18%上回った。
太 物	総入荷量は輸入物の減少が影響して，前年同月と比べ4%下回ったため，価格は10%上回った。
よ こ わ	北海道，長崎で水揚げされたもの主体の入荷となったが，資源保護のための漁獲自主規制の影響などから，入荷量は前年同月と比べ12%下回った。価格は主力の北海道産の価格が低下したことにより11%下回った。
ひ ら め	宮城，韓国で水揚げされたもの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ24%上回ったため，価格は11%下回った。

品目	市況の概要
(冷凍魚主要品目の動向)	
冷 さ ば	入荷量は前年同月と比べ11%下回ったが、ノルウェー産の値下がりによる影響を受け、価格は7%下回った。
冷 す る め い か	入荷量は前年同月並であったが、前年からの漁獲不振が続いており、在庫も少ないことから、価格は5%上回った。
(加工水産物主要品目の動向)	
塩 さ ば	入荷量は前年同月と比べ7%下回ったが、生さばの入荷量も多いことから、価格は前年並であった。
干 か れ い	干水かれいの入荷量は前年同月と比べ6%上回ったものの、荷動き良く価格は前年並であった。干笹かれいの入荷量は前年同月と比べ72%上回ったため、価格は21%下回った。